取扱説明書

リモートミキサー

MX-1200D

このたびは、TOA リモートミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA株式会社

目　次

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号	行為を強制する記号
禁　止	強　制

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁　止

じゃまになる場所に取り付けない

以下の場所には取り付けないでください。
交通事故やけがの原因となります。

- 車の運転に支障のある場所
- 乗降時に身体や衣服が引っかかる場所
- エアバッグの作動に支障のある場所

禁　止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源コードを外して販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき

強　制

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

転倒・移動防止の処置をする

安定したところに据え付けてください。また、転倒・移動防止の処置をしてください。
守らないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。

強　制

金属のエッジで手をこすらない

強くこすると、けがの原因となることがあります。

禁　止

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

配線はアンプの電源を切ってから行う

電源を入れたまま配線すると、感電の原因となることがあります。

強 制

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

強 制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁 止

製品の上に乗らない

本機に乗ったりしないでください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

禁 止

概　要

本機は、別売の車載用アンプCA-1200Dと組み合わせて使用するリモートミキサーです。
ワイヤレスマイク（2本）、有線マイク（2本）、ポータブルオーディオプレーヤー（予備入力端子）などの入力機器が使用できます。

特　長

● 2系統の出力を装備

フロントとリアの2系統があり、必要な方向だけのスピーカーを鳴らすことができます。

● 音質調整の簡単操作

音質スイッチ（クリア：低域カットによる明瞭性アップ、ソフト：高域カットによるハウリング*軽減）の簡単操作で効果的な使用ができます。

* スピーカーから出た音をマイクが拾ってしまい、その音をまたアンプが増幅し、さらにスピーカーが拡声するという一種のループ状態が生じて、キーンという音がすること。

● 出力表示灯

シグナル／ピーク表示灯が付いていますので、出力状態がわかります。

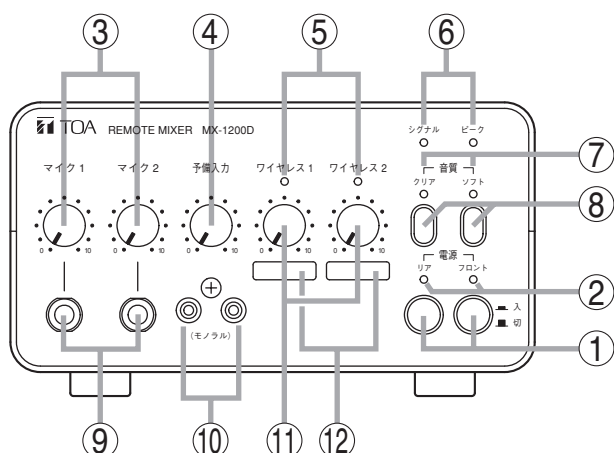
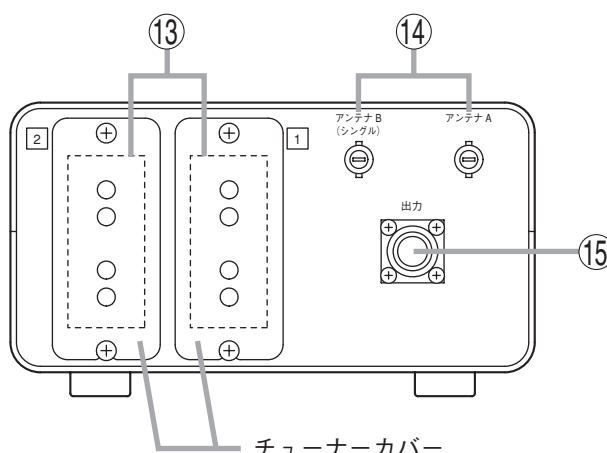
● ワイヤレスマイク2本同時使用

・ワイヤレスマイクは2本同時に使用できます。
・ワイヤレスチューナーは別売のWTU-1720（シングル）、WTU-1820（ダイバシティ）の両方に対応できます。
・ダイバシティを使用することで音声の途切れなどが少なくなり、受信の安定性が高まります。

使用上のご注意

- 本機の近くで携帯電話などを使用すると、ノイズが発生することがあります。
  携帯電話などは本機からできるだけ離れて使用してください。
- 有線マイクを使用するときは、マイク本体が車体などに触れないようにしてください。
  車のノイズの影響を受け、放送にノイズが発生することがあります。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

各部の名称とはたらき

［前面］

［後面］

1. フロント・リア電源スイッチ
押すとアンプ CA-1200D の該当する系統の電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。
※ ☞ P. 6「電源スイッチの使いかた」

2. フロント・リア電源表示灯
フロントまたはリア系統の電源が入ると点灯します。

3. 有線マイク1、2音量つまみ
有線マイク入力ジャック（9）に接続した、それぞれのマイクの音量を調節します。

4. 予備入力音量つまみ
予備入力ジャック（10）に接続した機器の音量を調節します。

5. ワイヤレス1、2受信表示灯
それぞれのワイヤレスマイクの電波を受信すると点灯します。

6. 出力表示灯（シグナル、ピーク）
出力音量を表示します。
※ ☞ P. 9「出力表示灯の見かた」

7. 音質表示灯（クリア、ソフト）
音質スイッチ（8）を押すと点灯します。

8. 音質スイッチ（クリア、ソフト）
クリア：押すと低域がカットされ、明瞭性がアップします。
ソフト：押すと高域がカットされ、ハウリングの軽減に効果があります。
※ ☞ P. 6「音質スイッチの使いかた」

9. 有線マイク1、2入力ジャック
有線マイクを接続します。
※ –54 dB *、600 Ω、不平衡、ホーンジャック
※ ☞ P. 7「有線マイクの使いかた」

10. 予備入力ジャック（モノラル）
ポータブルオーディオプレーヤー、ラジオなどを接続します。
※ –32 dB *、10 k Ω、不平衡、RCA ピンジャック
※ ☞ P. 7「予備入力機器の使いかた」

11. ワイヤレスマイク1、2音量つまみ
ワイヤレスマイク1と2の音量を調節します。

ご注意

チューナーユニットを組み込まないときは、音量つまみは最小にしてください。

12. カラーマーク貼付位置
使用するワイヤレスマイクと同じカラーマーク（チューナーユニットに付属）を貼り付けます。

13. ワイヤレスチューナー収納部
別売のワイヤレスチューナーユニットを2台まで組み込むことができます。
※ 適用チューナーは、WTU-1720（シングル）と WTU-1820（ダイバシティ）です。
※ ☞ P. 10「ワイヤレスチューナーユニットの組み込み」

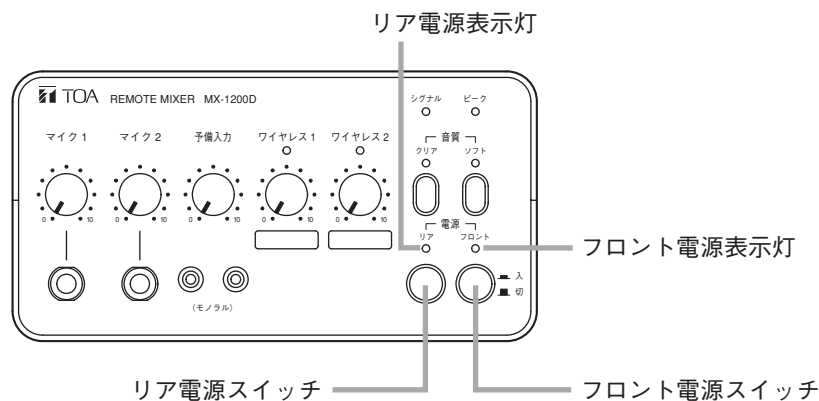
14. ワイヤレスアンテナ接続端子
別売の車載用ワイヤレスアンテナ YW-530 を接続します。
※ WTU-1720（シングル）を使用するときは B 端子に、WTU-1820（ダイバシティ）を使用するときは A・B 端子にアンテナを接続してください。
※ ☞ P. 11「ワイヤレスアンテナの接続」

15. リモコンコード接続端子
本機に付属のリモコンコード（5 m）を使って、別売の車載用アンプ CA-1200D と接続します。
※ ☞ P. 10「車載用アンプ CA-1200D への接続」

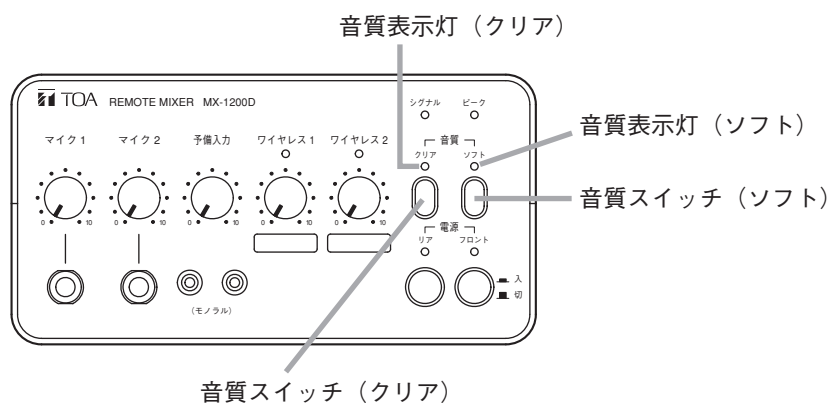
＊ 0 dB = 1 V

操作のしかた

■ 電源スイッチの使いかた

電源スイッチは、フロントとリアの２系統があります。
電源スイッチを押すとアンプ CA-1200D の電源が入り、該当する系統の電源表示灯が点灯して、数秒後に動作状態となります。

フロントスピーカーを鳴らすとき	フロント電源スイッチのみを ON にする。
リアスピーカーを鳴らすとき	リア電源スイッチのみを ON にする。
両方のスピーカーを鳴らすとき	フロント・リア電源スイッチの両方を ON にする。

■ 音質スイッチの使いかた

この音質スイッチは、本機に接続されたすべての音源の音質を切り換えることができます。
音質スイッチを押すと、該当する音質表示灯が点灯します。

クリア	押すと低域がカットされ、明瞭性がアップします。
ソフト	押すと高域がカットされ、ハウリング*の軽減に効果があります。

* スピーカーから出た音をマイクが拾ってしまい、その音をまたアンプが増幅し、さらにスピーカーが拡声するという一種のループ状態が生じて、キーンという音がすること。

■ 有線マイクの使いかた

1 **有線マイクを有線マイク１または２の入力ジャックに接続する。**

マイクは２本まで使用可能です。

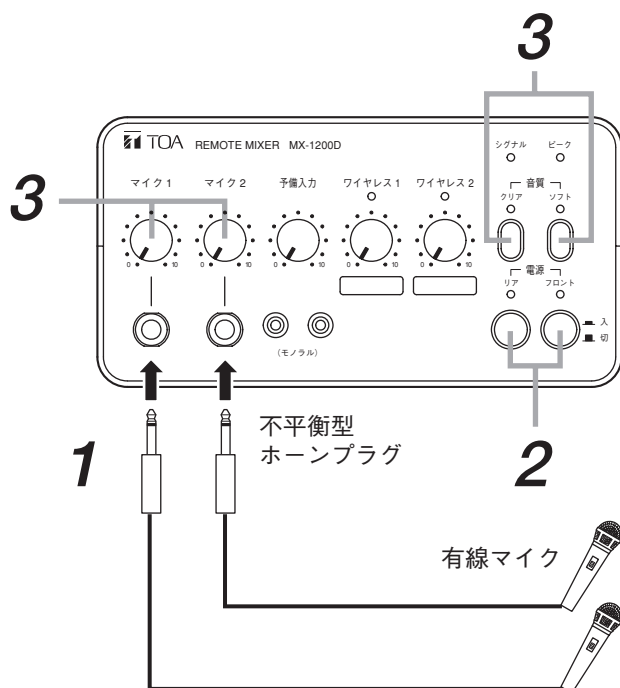
※ –54 dB＊、600 Ω、不平衡
（＊ 0 dB = 1 V）

2 **本機の電源スイッチを「入」にする。**

※ 詳しくは、P. 6「電源スイッチの使いかた」をお読みください。

3 **音量・音質を調節する。**

該当する有線マイク音量つまみをゆっくりと時計方向に回して、音量を調節してください。

※ 音量はつまみを時計方向に回すと大きくなり、反時計方向に回すと小さくなります。
※ 音質調節のしかたは、P. 6「音質スイッチの使いかた」をお読みください。

■ 予備入力機器の使いかた

ご注意

予備入力端子はモノラルです。ステレオ信号を入力しても、合成されてモノラルで再生されます。

1 **ポータブルオーディオプレーヤー、ラジオなどを予備入力ジャックに接続する。**

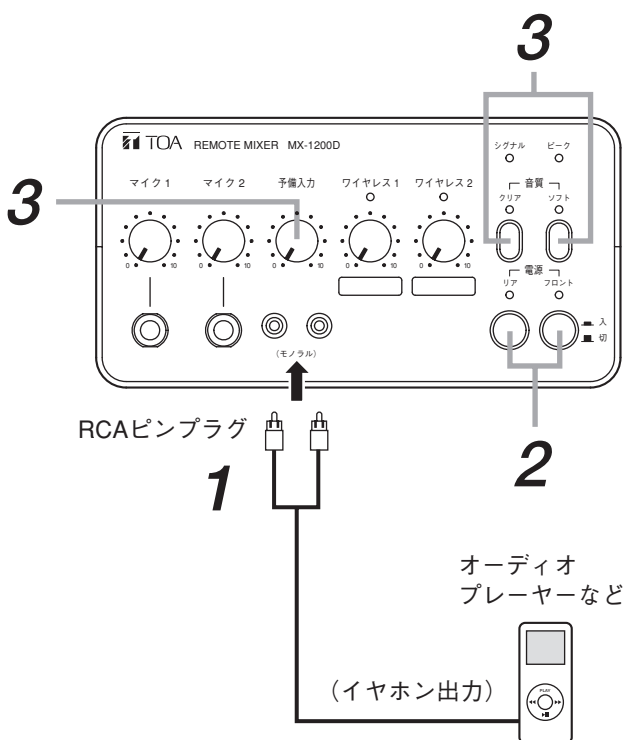
※ 入力感度：–32 dB＊、10 kΩ、不平衡、RCA ピンプラグ
（＊ 0 dB = 1 V）
※ RCA ピンプラグ付きコードは、市販品をお求めください。

2 **本機の電源スイッチを「入」にする。**

※ 詳しくは、P. 6「電源スイッチの使いかた」をお読みください。

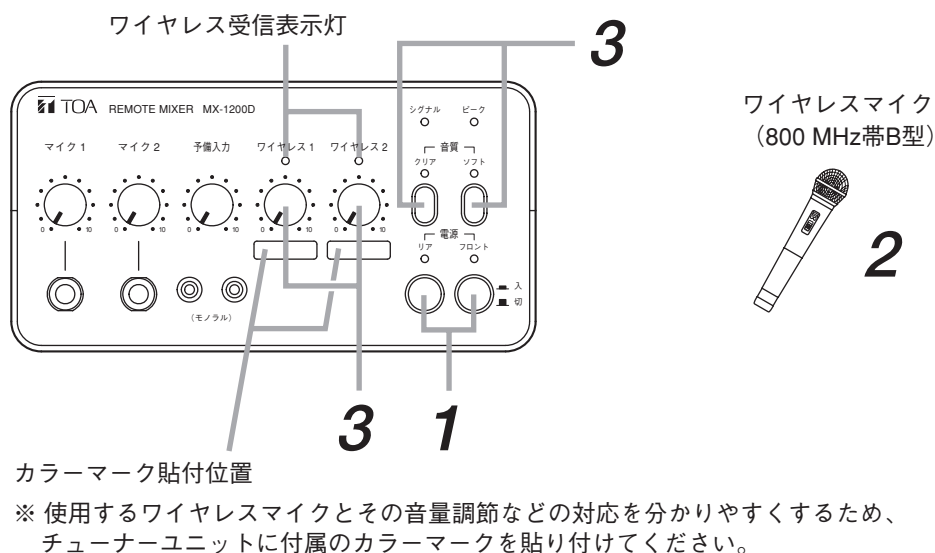
3 **音量・音質を調節する。**

予備入力音量つまみをゆっくりと時計方向に回して、音量を調節してください。
また、必要に応じて接続機器側でも音量調節を行ってください。

※ 予備入力音量つまみは、時計方向に回すと大きくなり、反時計方向に回すと小さくなります。
※ 音質調節のしかたは、P. 6「音質スイッチの使いかた」をお読みください。

■ ワイヤレスマイクの使いかた

ご注意

- ワイヤレスマイクは当社の800 MHz帯B型ワイヤレスマイクを使用してください。
- ワイヤレスマイクを同時に2本以上使用するときは、必ず同じグループの中から異なるチャンネルを選んでください。
- 同じチャンネル呼称のマイクは同時に使用できません。
- 同一場所での同時使用は、グループ番号が同じマイクロホンに限って最大6チャンネルまでできます。
- 蛍光灯やパソコンなどの高周波雑音を発生する機器から本機を離して設置してください。混信が発生したりワイヤレスマイクの電波が届きにくくなることがあります。
- 2つの異なるチャンネルを同時に使用するとき、2つのマイク間の距離は50 cm以上離してください。
- 本機の電源スイッチを「入」にして、ワイヤレスマイクの電源を入れる前に本機のワイヤレス受信表示灯が点灯するときは、設定されたチャンネルが使用中です。他のチャンネルに変更してください。
- シンセサイザー方式のワイヤレスマイクおよびチューナーユニットは、混信妨害を受ける場合、トーン周波数を変えることで影響を軽減することができます。
（詳しくは、チューナーユニットおよびワイヤレスマイクに付属の取扱説明書をお読みください。）

※ 使用するワイヤレスマイクとその音量調節などの対応を分かりやすくするため、チューナーユニットに付属のカラーマークを貼り付けてください。

1 本機の電源スイッチを「入」にする。

※ 詳しくは、P. 6「電源スイッチの使いかた」をお読みください。

2 ワイヤレスマイクの電源スイッチを入れる。

本機の前面にあるワイヤレス受信表示灯が点灯します。

3 音量・音質を調節する。

該当するワイヤレスマイク音量つまみをゆっくりと時計方向に回して、音量を調節してください。

※ 音量はつまみを時計方向に回すと大きくなり、反時計方向に回すと小さくなります。
※ 音質調節のしかたは、P. 6「音質スイッチの使いかた」をお読みください。

● 800 MHz帯ワイヤレスマイクのチャンネル呼称について

［チャンネル呼称の説明］

● デッドポイントについて

ワイヤレスマイクを移動しながら使用すると、電波の反射や干渉によってデッドポイントと呼ばれる、急に音がとぎれる場所が発生することがあります。デッドポイントを解消するためには、本機を壁などから離すか、アンテナ設置場所を１～２ｍ動かしてください。

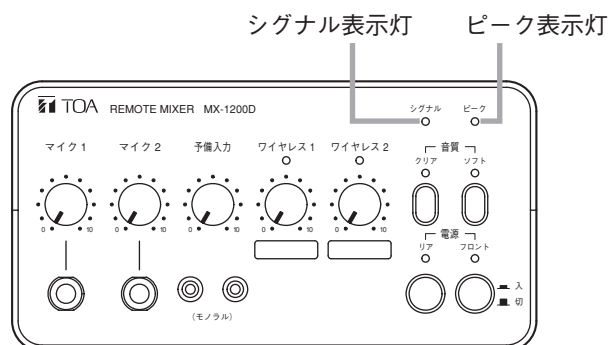
■ 出力表示灯の見かた

シグナル表示灯とピーク表示灯が付いていますので、出力状態がわかります。

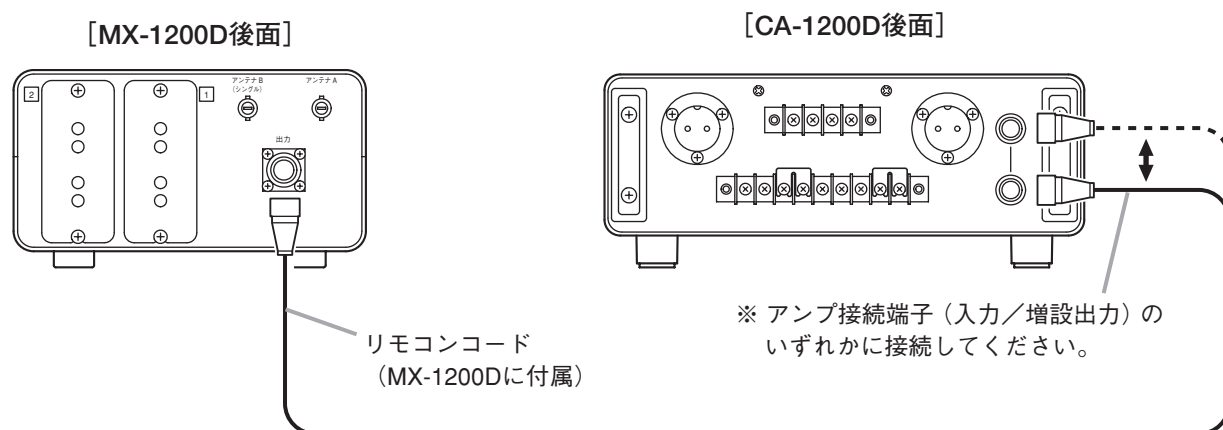
● シグナル表示灯（緑色）

出力音量を表示します。
最適な出力音量のときに、ときどき点灯します。

● ピーク表示灯（赤色）

出力音量を表示します。
点灯しない状態で使用してください。
点灯した状態で使用すると、音質が低下します。

接続のしかた

■ 車載用アンプ CA-1200D（別売品）への接続

本機に付属のリモコンコードを使って、CA-1200D 後面のアンプ接続端子（入力／増設出力）のいずれかに接続します。

■ ワイヤレスチューナーユニットの組み込み

本機は別売のワイヤレスチューナーユニットを２台まで組み込むことができます。
※ 適用チューナーユニットは、WTU-1720（シングル）および WTU-1820（ダイバシティ）です。

ご注意

シングルタイプのチューナーユニット WTU-1720 とダイバシティチューナーユニット WTU-1820 は同じ大きさですので、間違えないようにしてください。

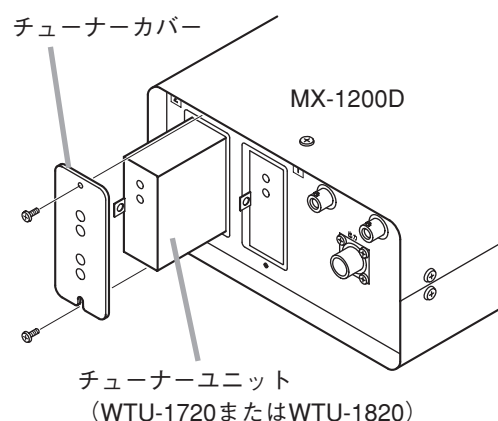
1 本機の電源スイッチを「切」にする。

2 後面のチューナーカバーを取り外す。

3 チューナーユニットを挿入し、奥のコネクターに確実に差し込む。

ご注意

チューナーユニットの方向（上下、前後）を間違えないようにしてください。

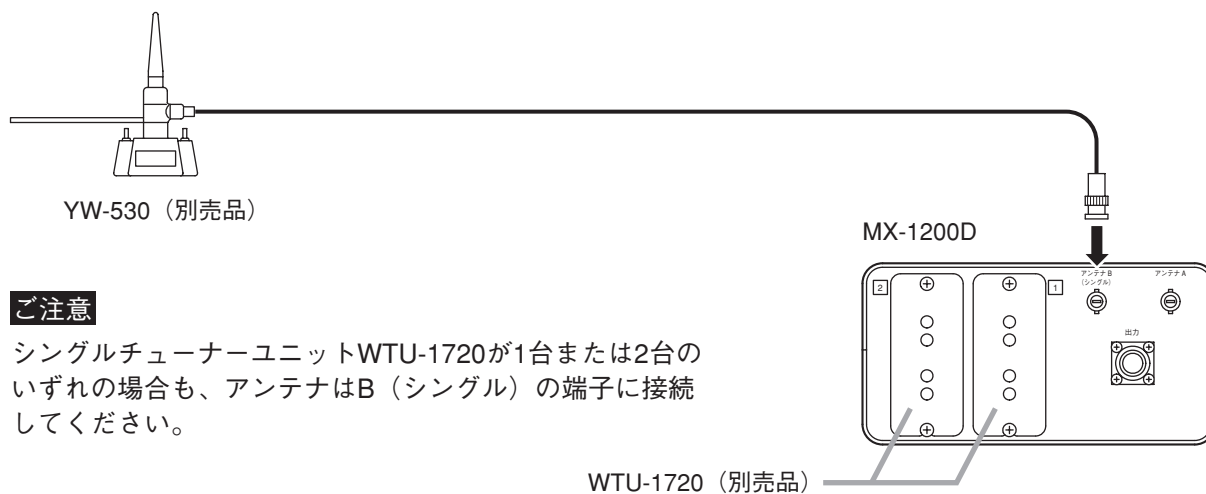
4 チューナーカバーを元どおりに取り付ける。

※ チューナーユニットの周波数の設定は、チューナーユニットに付属の取扱説明書をお読みください。

■ ワイヤレスアンテナの接続

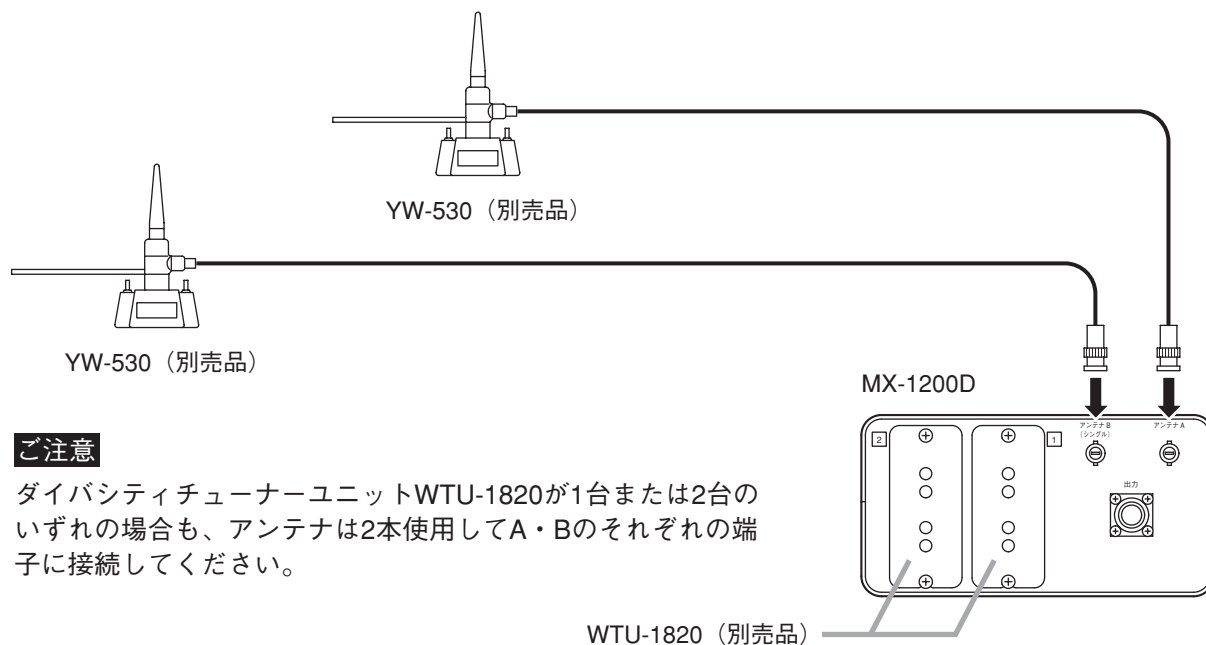
アンテナは別売の車載用ワイヤレスアンテナ YW-530 をご使用ください。

● シングルチューナーユニット WTU-1720 を使用する場合

ご注意

シングルチューナーユニットWTU-1720が1台または2台のいずれの場合も、アンテナはB（シングル）の端子に接続してください。

● ダイバシティチューナーユニット WTU-1820 を使用する場合

ご注意

ダイバシティチューナーユニットWTU-1820が1台または2台のいずれの場合も、アンテナは2本使用してA・Bのそれぞれの端子に接続してください。

仕　様

電　　　　　源	標準電圧：DC13.2 V（CA-1200Dより供給）
消　費　電　流	140 mA以下
出　　　　　力	定格0 dB＊（10 kΩ負荷）、平衡
歪　　　　　率	1%以下（1 kHz、定格出力時）
入　力　回　路	マイク1、2：−54 dB＊、600 Ω、不平衡、ホーンジャック 予備入力　：−32 dB＊、10 kΩ、不平衡、RCAピンジャック ワイヤレスチューナーユニット1、2（別売品）
周 波 数 特 性	100～10,000 Hz ±3 dB以内
仕　　上　　げ	パネル　　　　：プレコート鋼板、黒（マンセルN1.0近似色） ケース、シャーシ：圧延鋼板、黒（マンセルN1.0近似色）、塗装
使用温度範囲	−10～+50 ℃（ただし、結露しないこと）
寸　　　　　法	179（幅）× 100.5（高さ）× 222.5（奥行）mm　（突起部含む）
質　　　　　量	2 kg（本体のみ）

＊0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

リモコンコード（5 m）　…………………………………… 1

● 別売品

車載用アンプ　：CA-1200D
ワイヤレスチューナーユニット：WTU-1720（シングル）、WTU-1820（ダイバシティ）
ワイヤレスマイクロホン　：当社800 MHz帯ワイヤレスマイクロホン
車載用ワイヤレスアンテナ　：YW-530

TOAインフォメーションセンター
商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
受付時間　9：00 ～ 17：00（日曜・祝日除く）
フリーダイヤル（無料電話）
TEL. 0120 - 108 -117
〒665-0043 宝塚市高松町２番１号
TEL.（0797）72-7567
FAX.（0797）72-1090

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

133-22-057-70